

2026 年度（第 3 回）日本形成外科学会形成外科領域専門医制度： 再建・マイクロサージャリー分野指導医 資格更新審査 についての公示

2026 年 8 月 20 日

一般社団法人 日本形成外科学会

再建・マイクロサージャリー分野指導医認定委員会

委員長 中川 雅裕

日本形成外科学会は、形成外科領域専門医制度：特定分野指導医細則および再建・マイクロサージャリー分野指導医施行細則に基づき、第 3 回再建・マイクロサージャリー分野指導医資格更新審査を下記の要領で実施いたします。

1. 更新審査の対象となる分野指導医

2026 年度に専門医資格更新審査申請が必要な方は、以下に示す 2021 年度に分野指導医資格を得た 日本形成外科学会会員およびその他に該当する方です。

＜ 2021 年度資格取得者＞ ＊認定時期は 2022 年 4 月 1 日～

東 修智	天羽 健一	岩科 裕己	小川 晴生	鍵本慎太郎	笠井 文博
菅 剛史	神戸 未来	北 幸紘	黒柳 美里	榎水流健二	桑原 広輔
榎原 征宏	佐藤 智也	渋谷陽一郎	島田 賢一	関 征央	十九浦礼子
中尾 崇	仲野 孝史	羽賀 義剛	長谷川泰子	林 瑠加	福島 正則
福田 健児	藤田 悠気	前田 大介	三浦 佑樹	美原 留奈	山崎 俊
山下雄太郎	吉田 裕美	米沢みなみ			33 名

＜その他：2025 年度の資格更新審査において不合格となった者、資格更新の留保未承認となった者、資格更新申請未提出者および留保期間が切れた者＞

2. 更新審査の対象となる期間

2022 年 1 月 1 日より 2026 年 12 月 31 日までの 5 年間の業績を下記に従って申請してください。

3. 更新審査提出書類

以下の 1) ～ 6) の更新審査書類をご提出ください。なお、様式 1, 2, 3, 4 につきましては、日本形成外科学会ホームページよりダウンロードも可能です。

■日本形成外科学会ホームページ 申請書類ダウンロード用 URL

＜<https://jsprs.or.jp/specialist/shorui/index.html#contents10>>

- 1) 日本形成外科学会特定分野指導医資格更新申請書……………(様式 1)
- 2) 履歴書……………(様式 2)
- 3) 日本形成外科学会 専門医認定証 (コピー)
- 4) 業績目録 (資格更新申請用 ※証明書含む) ……………(様式 3)

- 5) 診療実績報告書……………(様式4)
6) 更新審査料振込の領収書(コピー)

※なお、65歳以上の専門医は5)様式4の診療実績報告書の提出は免除といたします。

4. 更新審査料および更新登録料

10,000円(更新審査料5,000円, 更新登録料5,000円)を所定の口座にお振り込みください。

※振込みは金融機関備え付けの用紙をご使用ください。

※通信欄に「再建・マイクロサージャリー分野指導医認定更新審査料として」とご記載ください。

【ゆうちょ銀行から送金の場合】

郵便振替口座：00140-8-51198

加入者名：日本形成外科学会 認定医認定委員会

【他の金融機関から送金の場合】

銀行名：ゆうちょ銀行

支店名：〇一九店(ゼロイチキュー店)

預金種目：当座

口座番号：0051198

5. 書類提出期間

2027年1月1日(金)～2027年1月31日(日) 必着

6. 更新審査書類送付先

更新審査書類の提出は、書留またはそれに準じる方法(レターパックなど)で委員会へ送付してください。

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル9F

日本形成外科学会事務局 再建・マイクロサージャリー分野指導医認定委員会

7. 更新審査の時期

2027年2月～3月実施予定

8. 更新審査の結果の発表および登録

再建・マイクロサージャリー分野指導医資格更新審査の結果は、再建・マイクロサージャリー分野指導医認定委員会が理事長に報告し、理事会の議を経て申請者に通知します。更新登録料の納付を確認した後、理事長が学会の指導医資格名簿に登録のうえ公示します。認定証は、追って理事長が本人に送付します。

9. 申請書類記入・作成に関する注意事項

- 1) ダウンロードした書類にて作成してください。
- 2) 年号の記載は西暦を用いてください。
- 3) 業績目録[資格更新申請用](様式3)

再建・マイクロサージャリー分野指導医資格を更新するためには、再建・マイクロサージャリー分野指導医資格取得後、下記の「■業績として認められる活動・研究歴およびその点数」に示す所定の学会活動歴もしくは研究業績が必要です。

再建・マイクロサージャリー分野指導医に登録された後の5年間(2022年1月1日～2026年12月31日)において総計20点以上の業績点数を取得しなければなりません。

なお、総計20点を満たしていれば、すべての点数の申告は必要ありません。

*認可されない可能性のある業績が含まれる場合もあるため、保険として数点分余計に提出いただいても構いません。

●業績目録は各種年度ごとに記載し、併せて業績目録を証明する以下の資料を添付してください。

- ・学会参加章（コピー可）※領収証は参加章として認められません。
- ・再建・マイクロサージャリー分野指導医教育セミナー受講証明書（コピー可）
- ・学術集会プログラム抄録集における申請者の発表が掲載されているページのコピーおよび、大会名・開催日が掲載されているページのコピー
- ・申請者の論文と判断できるページのコピー

※学術集会プログラム抄録集および論文は、申請者名に下線を引いてください。

■業績として認められる活動・研究歴およびその点数

- ・日本形成外科学会学術集会（春の「総会・学術集会」と、秋の「基礎学術集会」が対象）への参加・・・4点
- ・日本形成外科学会会期中（春の「総会・学術集会」と、秋の「基礎学術集会」が対象）の
再建・マイクロサージャリー領域に関する特別プログラムでの講演・座長・司会……………4点
- 再建・マイクロサージャリー領域に関する発表（筆頭）……………4点
- 再建・マイクロサージャリー領域に関する座長・司会……………2点
- 再建・マイクロサージャリー分野指導医認定教育セミナー受講・講師……………2点
- ・各地区の形成外科学会学術集会および地方会への参加……………2点
- ・各地区の形成外科学会学術集会および地方会における
再建・マイクロサージャリー領域に関する講演・発表（筆頭）……………2点
- ・日本マイクロサージャリー学会学術集会への参加……………4点
- ・日本マイクロサージャリー学会学術集会における座長・司会……………2点
- ・再建・マイクロサージャリー領域に関する国内学会の参加……………2点
- ・再建・マイクロサージャリー領域に関する国内学会の発表（筆頭）……………2点
- ・再建・マイクロサージャリー領域に関する国際学会参加……………2点
- ・再建・マイクロサージャリー領域に関する国際学会発表（筆頭）……………4点
- ・再建・マイクロサージャリー領域に関する学術論文（和文：筆頭）……………5点
- ・再建・マイクロサージャリー領域に関する学術論文
（英文：筆頭または corresponding author）……………5点
- ・再建・マイクロサージャリー領域に関する学術論文（和・英文：共著者）……………1点
- ・形成外科診療ガイドライン作成時に、再建・マイクロサージャリー領域部門の
ガイドライン執筆者または責任者として携わった場合（頭頸部再建部門、
乳房再建部門、四肢再建部門、殿部・外陰部再建部門、リンパ浮腫部門）……………3点

注：再建・マイクロサージャリー領域に関連する業績として認められるか否かについては、再建・マイクロサージャリー分野指導医認定委員会が決定します。

4) 診療実績報告書（様式4）（65歳以上の分野指導医は提出が免除になります）

分野指導医資格を更新するためには、分野指導医資格取得後に関わった再建・マイクロサージャリー領域症例の【件数】【手術内容】【執刀・指導の別】を学会指定の様式に従い、記載のうえ報告してください（手術したもの以外も含む）。

＊5年間のうちの経験した再建手術症例の中から、診療実績として、植皮・局所皮弁・有茎皮弁・遊離皮弁などの組織移植や神経再建、再接着などの再建手術症例を、『合計100例』入力して提出してください。

＊100例のうち、「遊離組織移植術（遊離皮弁移植術を含む）」または「再接着術」は10例以上を必要とします。満たさない場合は備考欄へその理由を記載してください。

＊再建手術でない症例は診療実績として認められません。

＊再建手術と認められない症例が含まれる可能性もあるため、100例より多めに提出しても構いません。

また、Excel様式に入力後、入力内容が画面上では確認できても、印刷時にセル内の文字が切れている場合がありますので、提出前に印刷物上で記載内容がすべて表示されていることを必ずご確認ください。

申請書類は原則として返却いたしません。必ずコピーを取ってください。

10. 問い合わせ先

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル9F

日本形成外科学会事務局 再建・マイクロサージャリー分野指導医認定委員会

E-mail: senmoni-keisei@jsprs.or.jp

お問い合わせは、E-mailにてお願いいたします。